

製品安全におけるNITEの役割

～NITE製品安全業務の概要～

平成22年2月9日

製品安全センター所長
山本 修

NITEは「くらしの安全・安心」を支援しています

ナイト(NITE)は、製品事故の公的な原因究明機関です。

製品事故の原因を分析して、経済産業省と連携して製品の改善等のものづくりや製品の回収などの事故対策に貢献することを使命としています。

信頼できる技術と情報の提供

製品事故の調査・分析、安全情報の提供

生活安全分野

暮らしの安心を支援。安全・快適さに関する情報を発信

試験・検査機関の信頼性評価

微生物の保存提供、ゲノム解析

バイオテクノロジー分野

微生物のパワーをバイオ産業の発展に活かす

適合性認定分野

市場のグローバル化に対応し、国際ルールによる認定を実施

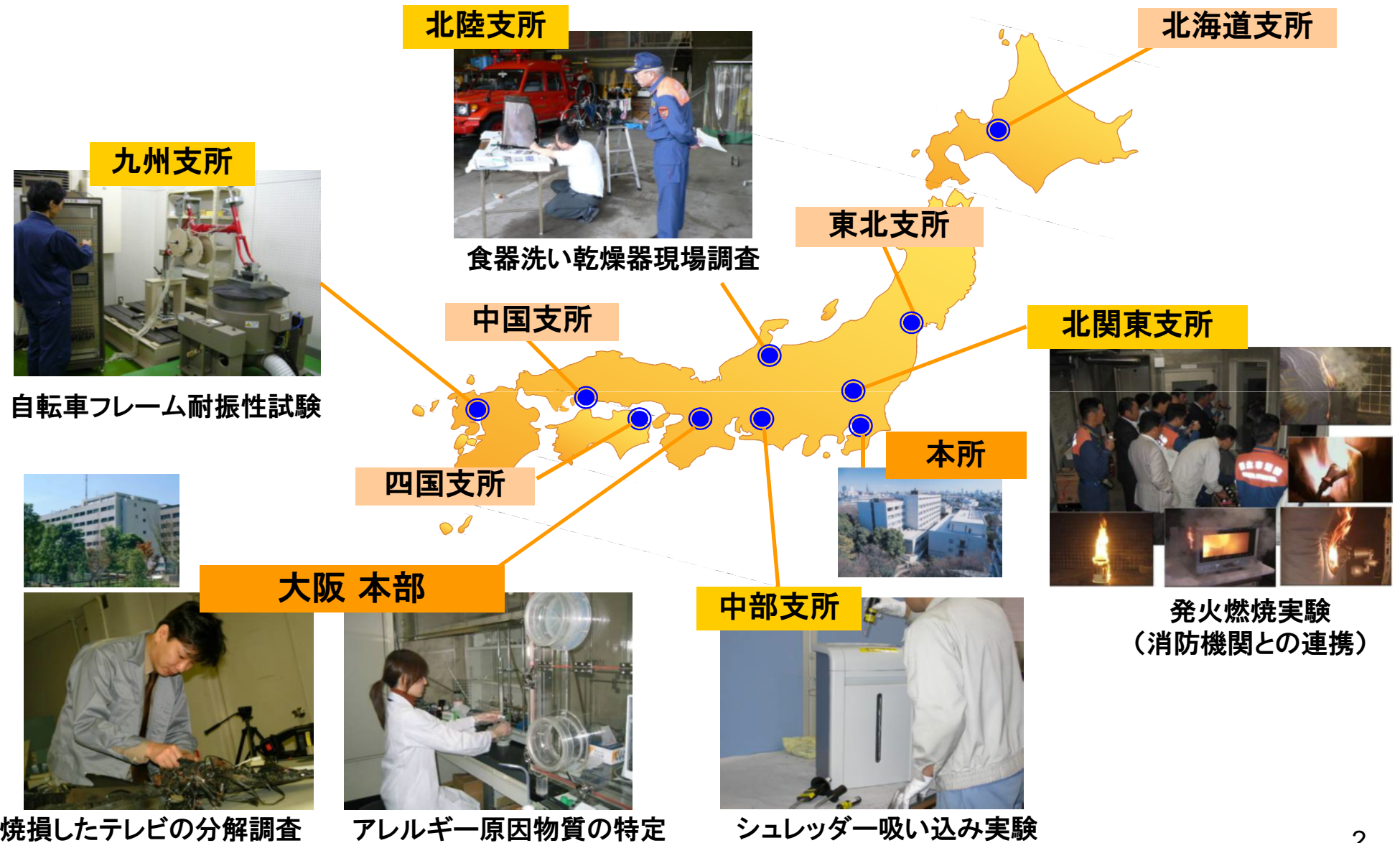
化学物質管理分野

化学物質総合管理の知的基盤整備と技術的支援を行う

化学物質の安全情報の提供

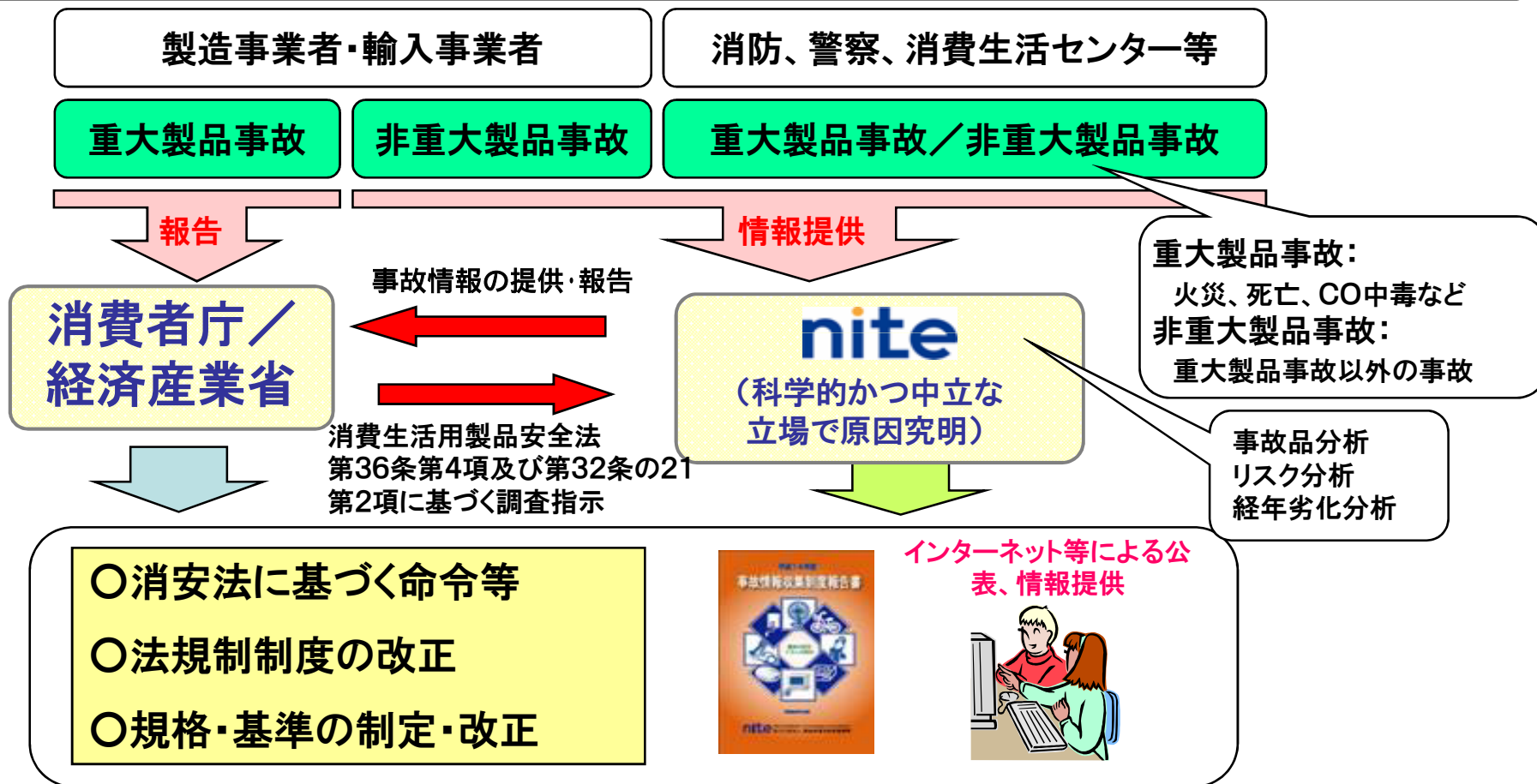
様々な分野の技術者が結集
約160人の技術者が
全国10か所で事故原因を究明

NITE(ナイト)の全国組織



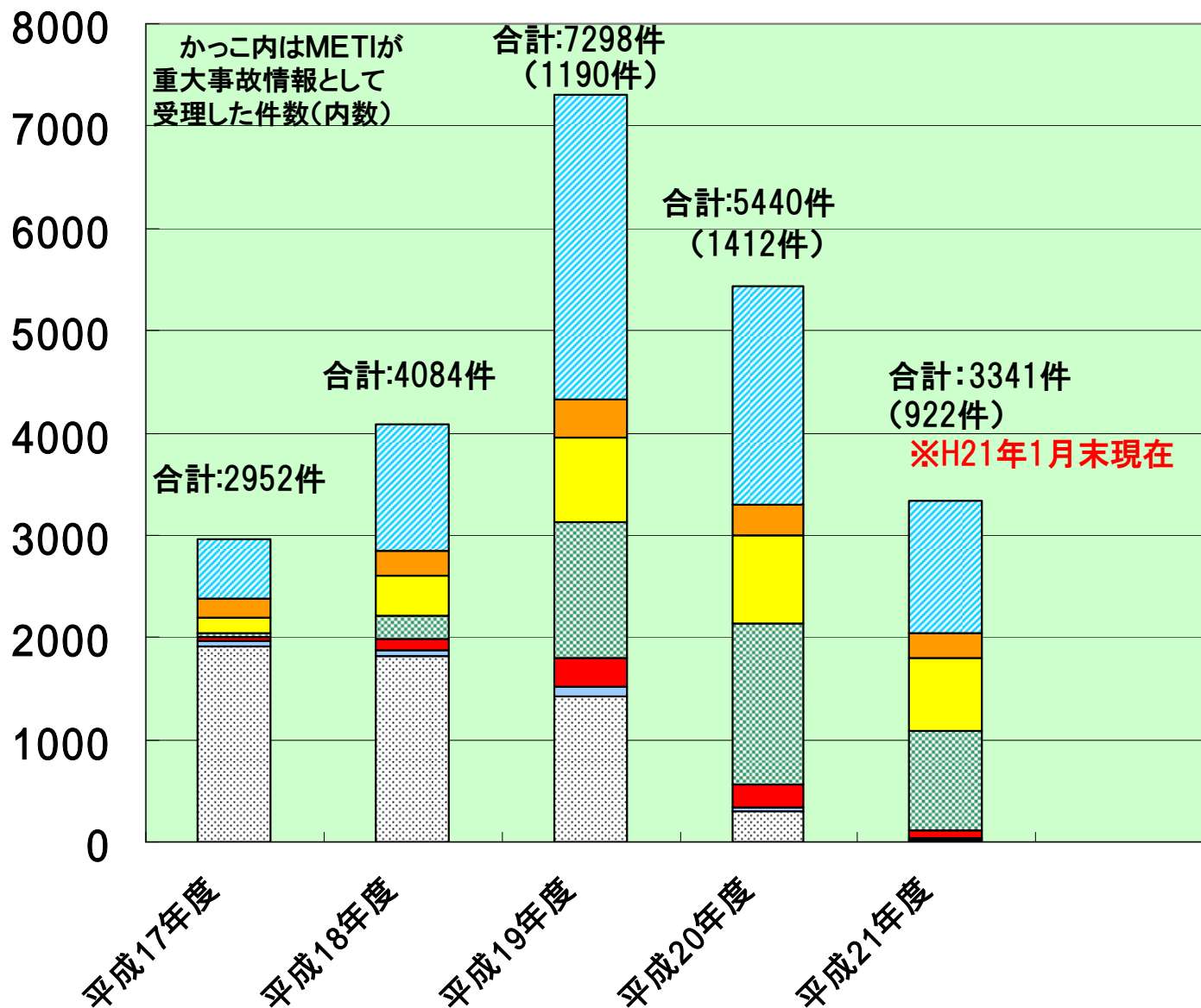
製品事故の情報収集、調査・分析、公表

消費生活用製品安全法等に基づき、消費者が使用する工業製品に関する事故の情報を収集し、原因を究明。その結果を公表、情報提供し、事故の再発・未然防止に貢献。



国民の安心安全を守る、事故の再発・未然防止へ

NITEの事故情報収集件数の推移(情報源別) nite

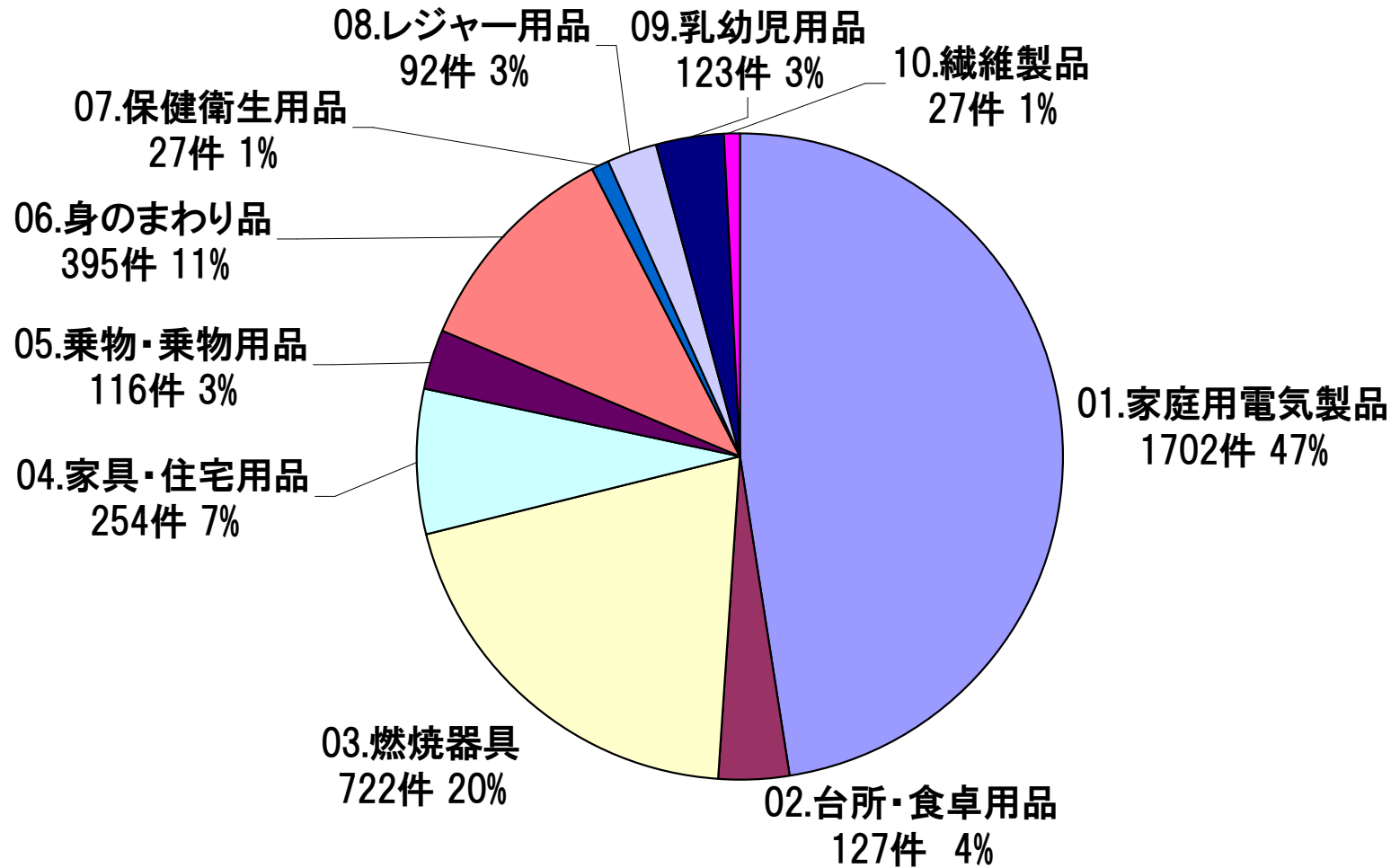


平成19年度は、消費生活用製品安全法改正を受け、過去に遡って事業者からの事故情報報告を受け付けたため、一時的に急増。
 平成20年度は制度が定着。また同一製品の多発案件が減少したこと等により、件数が安定。

- 製造事業者等
- 消防機関等
- 消費生活センター
- 経済産業省
- 消費者
- その他
- 新聞等

年度別、情報源別事故情報収集件数

平成20年度非重大製品事故収集結果



製品区分別事故情報件数

合計3585件

平成22年2月3日現在

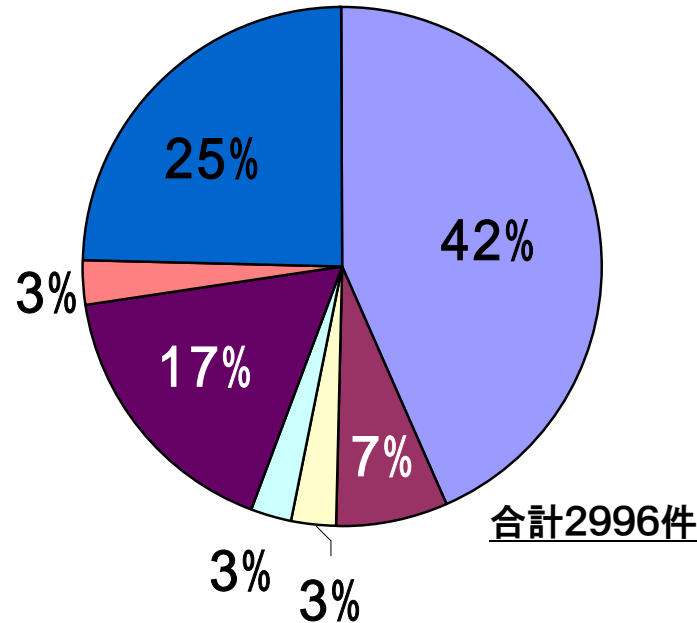
平成20年度非重大製品事故調査結果

「誤使用・不注意の事故」の多い5品目

品目	件数	割合%
ガスこんろ	98件	19.4%
石油ストーブ	28件	5.6%
電気ストーブ	26件	5.2%
ガスふろがま	18件	3.6%
配線器具	16件	3.2%
小計	186件	36.9%
総計	504件	100.0%

「製品に起因する事故」の多い5品目

品目	件数	割合%
ノートパソコン	132件	8.3%
カイロ	96件	6.0%
直流電源装置	92件	5.8%
石油給湯器	85件	5.4%
電気ストーブ	84件	5.3%
小計	489件	30.8%
総計	1587件	100.0%



- 設計・製造に起因する事故
- 経年劣化による事故
- 誤使用・不注意による事故
- 原因が不明の事故
- 設計・製造と使用方法に起因する事故
- 設置施工による事故
- 製品に起因しない事故

事故原因別事故情報件数

平成22年2月3日現在

平成20年度に受付けた案件のうち、事故動向等解析専門委員会に諮られた2996件について、事故原因区分別件数の割合

◆事故原因究明

電気、機械、化学等の技術者により、収集した全ての事故情報について調査、原因究明を実施しています。

外部機関(消防、大学、公設試等)と密接に連携して調査を行っています。

事故発生後、迅速に現地において事故品を確保するとともに、現場調査を実施しています。

過去の事故情報を基にリスク分析を実施しながら効率的な原因究明を行っています。

事故の種類に応じ、全国各地で保有する設備を活用して行っています。

◆経済産業省への報告、提言

事故の原因究明の結果をリスク分析結果とともに速やかに経済産業省へ報告しています。

事故原因に応じ、事故の再発防止のための対策を提言しています。

未然防止のための対策を提言しています。

事故原因の究明事例 ① (対策提言 / 法律改正) nite

FF式暖房機

一酸化炭素中毒事故。
平成17年に4件発生。
死亡者2名。

CO中毒



消費生活用製品安全法の規定に
基づく回収等の緊急命令

事故原因
を究明

CO中毒の原因を徹
底調査。
ホース劣化原因、燃
焼排ガス漏れのメカ
ニズムを解明。

製造事業者
による製品
回収

法改正

安全装置の設置や、劣化に対す
る点検の実施による再発防止対
策を提言・公表

当該製品を含み、
長期使用製品安全
点検制度が導入さ
れた。

ガス給湯器

一酸化炭素中毒事故。
平成17年11月までに28
件発生。
死亡者21名。

CO中毒



自主回収
品の調査
を実施

CO中毒の原因を徹底調査。
排気ファン作動不良、燃焼排
ガス漏れのメカニズムを解明。

消費生活用製品安全法の規定に
基づく回収等の緊急命令

製造事業者による製品回収

事故原因の究明事例 ②(対策提言 / 法律改正) nite

おしゃれ用 度無しカラーコン タクトレンズ

若者たちの間で流行している度無しカラーコンタクトレンズの装用による眼障害が多発。



医療機関からの事故通知
平成19年度28件

生活者から求められるレンズの安全性について、有識者、関係省庁等(厚労省、国立医薬品食品衛生研究所、国民生活センター等)からなる委員会をNITE内に発足

1. 製造、流通等

2. 装用被害、使用実態状況

(社)日本眼科医師会の協力のもと、眼科医(12,877人)を受診した患者にアンケートを実施。(実施期間:平成19年12月から平成20年2月)

眼科医145人から186件の眼障害事例の回答

3. 製品の品質・表示調査

4. 海外規制

安全性及び海外
規制等の実態調
査を実施

経済省、厚労省に眼障害を防止するための提言

薬事法の対象に!

施行令を改正、21年11月施行

事故原因の究明事例 ③ (対策提言 / 基準改正) nite

電動車いす

日常生活における移動に不自由をきたした高齢者等が利用するハンドル形電動車いすで重大事故が多発。



安全性に係る実態調査を実施

種 別	1.死亡	2.重傷	3.軽傷	4.拡大被害	5.製品破損	6.被害なし	合 計
ジョイスティック形	1	1	4		6	1	13
ハンドル形	23	5	4		25	2	59
不 明	17	4	1	1	1		24
合 計	41	10	9	1	32	3	96

2008年1月までにNITEが受付けた事故情報の内、**ハンドル形の事故が61%**を占める。
ハンドル形の事故の内、人への被害があった場合は、**重篤な結果**を招く場合が多い。

- ・2007年度末に、現在市販中のハンドル形電動車いすの試買テストを実施し、提言をとりまとめ、経済産業省に報告。
- ・現在、任意規格であるJIS規格の改正内容を規定するべく作業中。
(平成21年12月21日 公布)

事故原因の究明事例 ④(対策提言 / 基準改正) nite

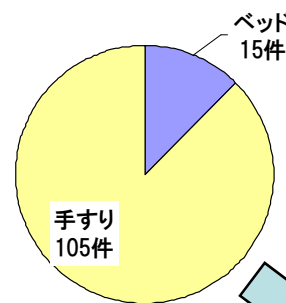
介護用ベッド

平成13年～平成20年10月末までの介護用ベッド(電動ベッド含む)に関する事故情報は120件。うち、介護用ベッドの手すり(サイドレールを含む)に関する事故情報は105件。

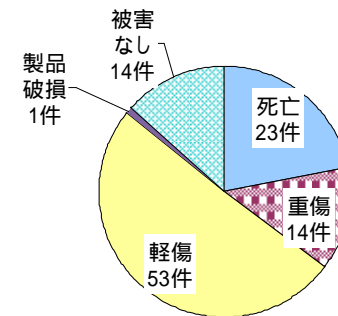


安全性に係る
実態調査
を実施

介護用ベッド種類別
事故件数(全120件)



介護用ベッド手すり被害別
(手すり事故全105件)



社告
介護用ベッド:1件
介護用ベッド手すり:1件

介護用ベッド手すりの死亡事故の再発防止のための規格基準の作成

- ・介護用ベッド手すりの隙間による**頸部の挟み込み**の死亡事故に対する再発防止対応
- ・NITEで実施中の福祉用具の共通規格開発事業で得た基礎データを提供・活用

介護用ベッド手すり(グリップ)は、日本工業規格(JIS)に基準がなかったため、NITE、経済産業省、日本福祉用具・生活支援用具協会、文化用品安全試験所が協力して頸部挟み込みを確認する試験方法を作成し、JIS T 9254(在宅用電動介護用ベッド)に盛り込んだ改正案を作成した。
(→ 2009年3月20日制定)

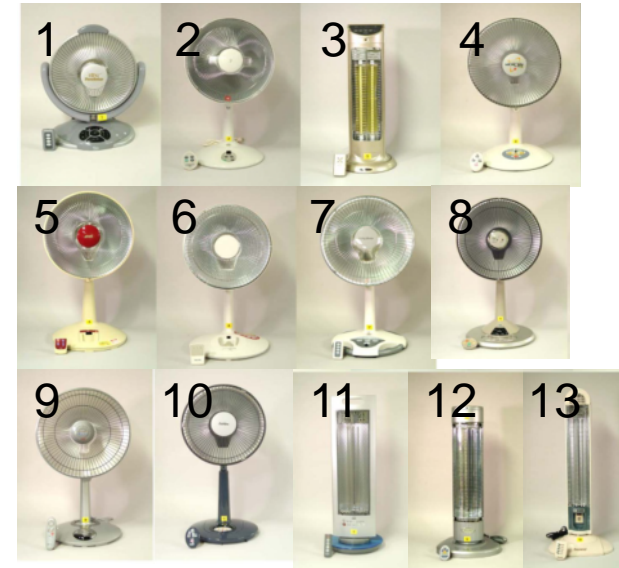
事故原因の究明事例 ⑤ (対策提言 / 基準改正) nite

電気ストーブ

家電製品のリモコン操作やノイズで、電気ストーブのヒーターが点灯するなどの誤作動を起こす情報を入手

ヒヤリ!
ハット!!

市場製品を
緊急試買
実態と安全性
を確認

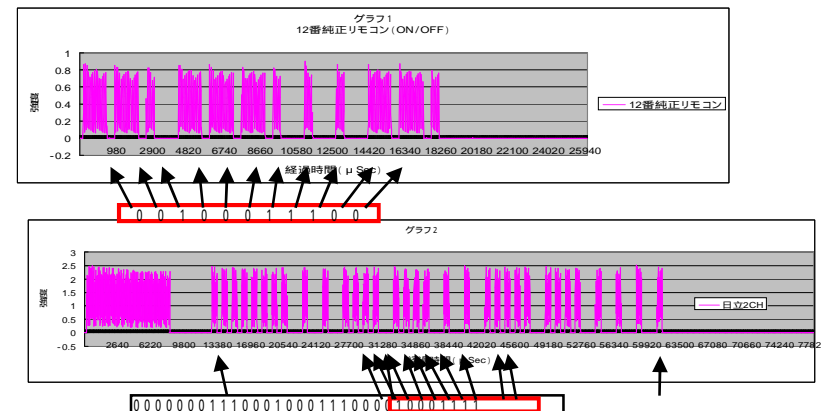


リモコン付き電気ストーブが他の電気製品のリモコン操作で誤作動確認

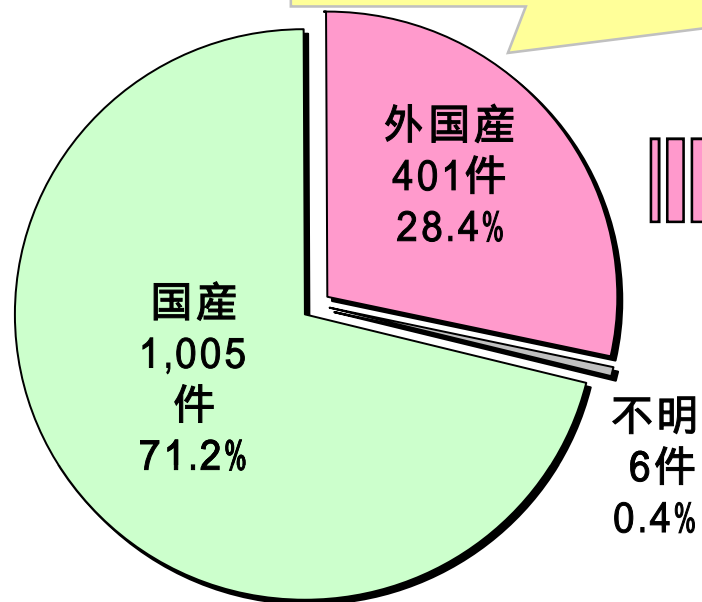
誤作動によって意図せず電源が入ることにより火災事故等が生じる可能性があり経済産業省へ報告

電気用品安全法の技術基準を改正
◆リモコンによる電源のON機能の禁止
平成19年9月18日から施行

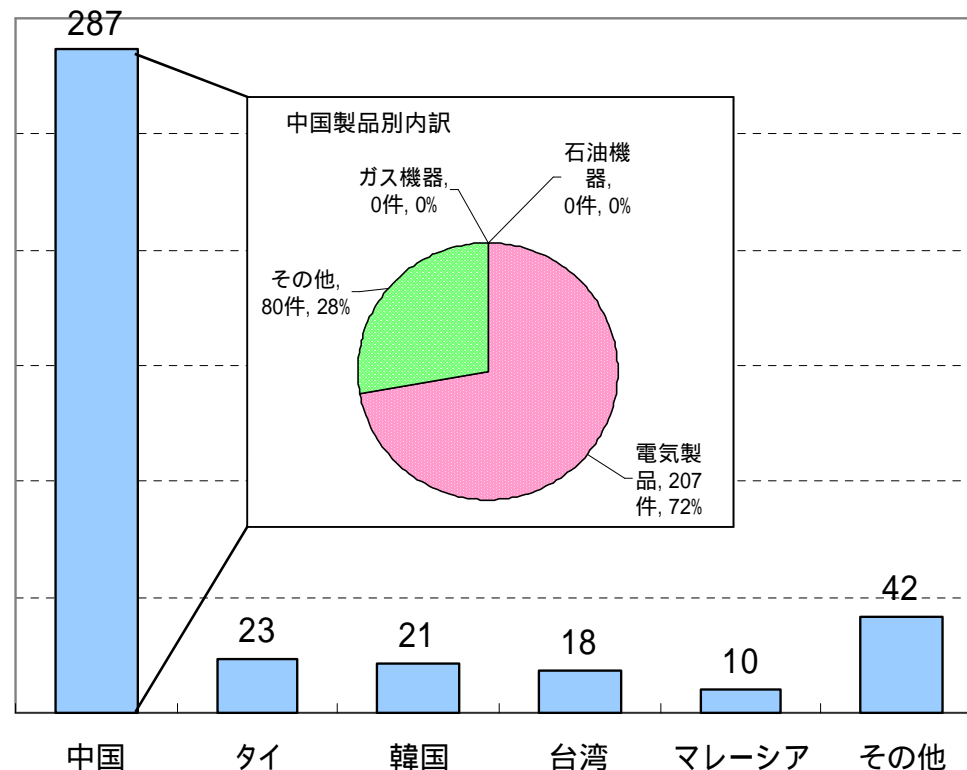
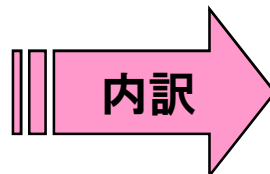
事故の未然防止に寄与!



重大事故情報報告の約3割が輸入製品



生産国別重大事故報告件数
(平成20年度実績件数)

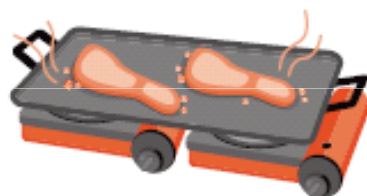


経済産業省 産業構造審議会消費経済部会製品安全小委員会(第14回)資料
 「平成20年度重大製品事故報告・公表制度の実施状況について」(平成21年5月26日)より
 (製品事故に非該当、消費生活用製品安全法対象外、危害の内容が非該当、重複のものも含む)

輸入製品への対策が必要

カセットこんろの爆発

カセットこんろを並べて、こんろを覆うような大きな調理器具（鉄板、鍋）を使用するなどしたところ、調理器具の輻射熱でボンベが過熱されて爆発しました。



カセットこんろ2台を横に並べ、鉄板を上に乗せてバーナーを点火



左側のカセットこんろのカセットボンベが破裂、爆発

IHこんろの天ぷら油火災

底が平らではなく、凹凸のある鍋を使用していたために、センサーが鍋底の温度を感知できず、また、使用者が調理中にその場を離れたことから、油が過熱・発火しました。

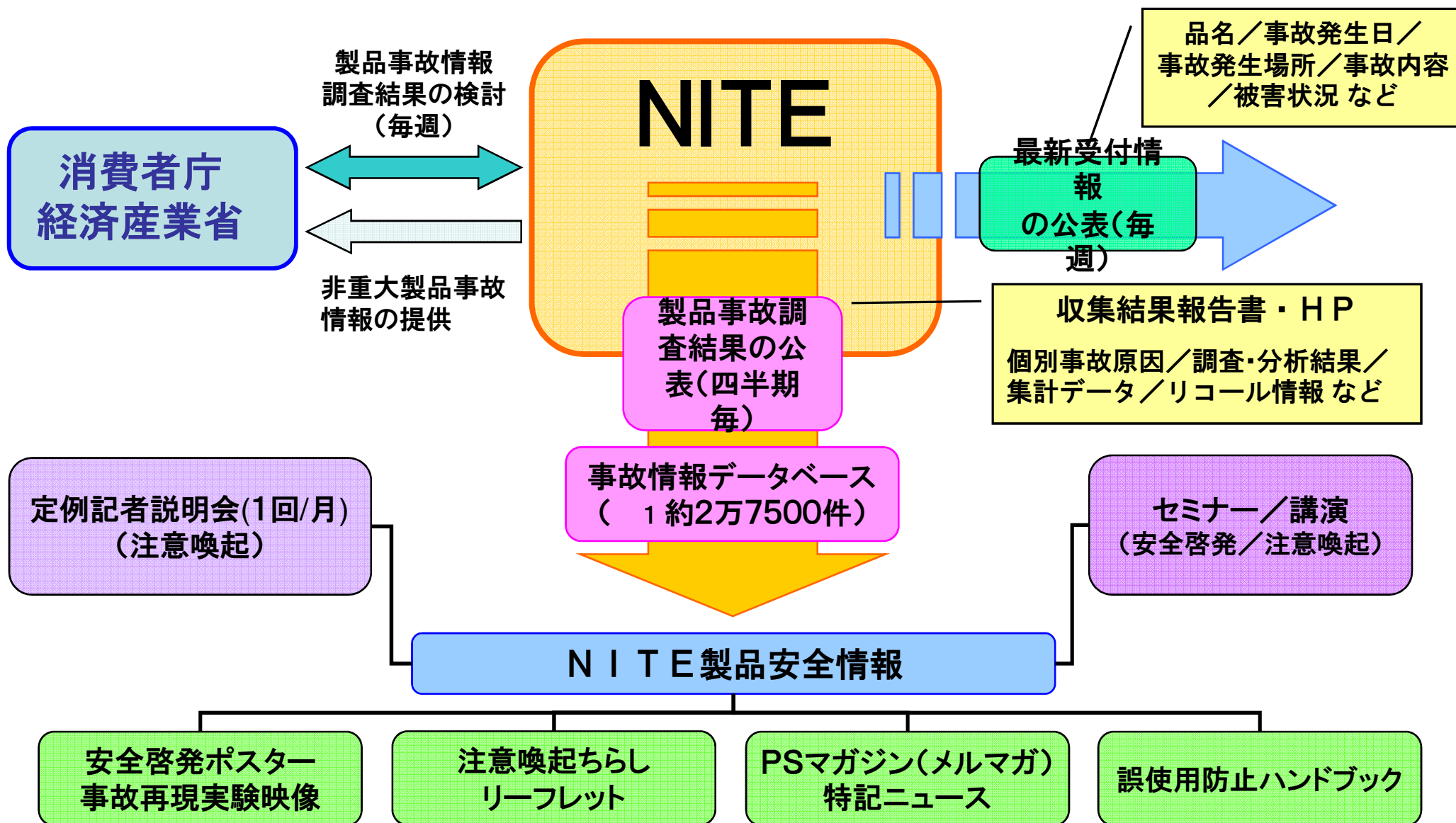


白煙が立ち上がるなべ



自然発火した調理油

製品事故情報、製品安全情報の提供



製品事故情報の検索

事故情報の検索 TOP | 独立行政法人製品評価技術基盤機構 - Microsoft Internet Explorer

生活安全分野
～暮らしの安心を支援する、安全・快適さに関する情報の発信～

事故情報の検索 クリック

事故情報の検索結果 (一覧)

1. 電気ストーブ品名含む 区別しない

表示ページ: 1 / 2 (1 - 10) 件 検索結果: 12 件

順位	事故情報
1	A200701132 2008/08/08 電気ストーブ(オイルヒーター) 使用中の当該製品から出火し、電源コードの根元部分が溶融した。(事故発生地: 滋賀県)
2	A200701083 2008/02/20 電気ストーブ 当該製品から出火する火災が発生し、家人が軽傷を負った。(事故発生地: 東京都)
3	A200700833 2008/01/28 電気ストーブ(カーボヒーター) 当該製品から出火する火災が発生した。(事故発生地: 高知県)
	A200700806 2007/12/25 電気ストーブ(オイルヒーター)

検索条件を入力して検索
「事故情報データベース検索の手引き」
を参照

キーワード条件

キーワード	検索項目	選択肢
1 電気ストーブ	品名	含む
2	指定なし	含む
3	指定なし	含む

条件 1・2・3全てを満たしているもの

平成8年度以降、約27,500件の事故情報データを提供
(平成22年2月3日現在)

事故情報データの詳細

The screenshot shows a Microsoft Internet Explorer browser window displaying the NITE website. The page title is "事故情報の検索" (Search for Accident Information). The breadcrumb trail is: HOME > 製品安全・事故情報 > 事故情報の検索トップ > 事故情報の検索 > 事故情報の検索結果 > 事故情報詳細. A link for "事故原因区分の定義について" (About the definition of accident cause categories) is visible. A note states: "※検索結果一覧へは『事故情報の検索結果』で戻ります。" (Please return to the search results list from the search results page). The main content is a table titled "事故情報詳細" (Accident Information Details).

事故発生日	2008/03/09
年度番号	A200701132
品目	01. 家庭用電気製品
品名	電気ストーブ(オイルヒーター)
型式	QLV-065
製造輸入販売業者	株式会社セラヴィ
事故通知者	経済産業省 重大製品事故(2007-7126)
事故通知内容	使用中の当該製品から出火し、電源コードの根元部分が溶融した。(事故発生地:滋賀県)
被害の種類	11. 火災
事故原因	事故原因は、電源コードと内部配線を接続するネジの締め付けが弱かったため、接触不良を起こし、発熱して出火に至ったものと考えられる。
原因区分	—
再発防止措置	輸入事業者である株式会社セラヴィでは、平成20年3月15日に新聞社告を掲載し注意喚起を行うとともに対象製品の改修を実施している。

※別紙に品名一覧を示しますので、検索の際にご参照下さい。

Copyright 2002 - 2010 (C) National Institute of Technology and Evaluation All rights reserved.

【公表事項】

- ・事故発生日
- ・年度番号
- ・品目、品名、型式
- ・製造輸入販売事業者
- ・製品使用期間
- ・事故通知者
- ・事故通知内容及び被害の種類
- ・事故原因及び原因区分
- ・再発防止措置

最新の社告・リコール情報

nite

nite 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

検索 | サイトマップ | リンク集 | English |

NITEトップ > 生活安全分野 > 製品安全・事故情報

生活安全分野

製品に関する事故情報や高齢者・障害者に配慮した国際・国内規格・技術データなどの情報を提供しています。

製品安全・事故情報

消費者のみなさまへ

- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起チラシ >>
- ミニポスター(一部動物画付) >>
- 誤使用防止ハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>
- What's New >>
- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>
- 社告・リコール情報 >>
- 社告・リコールの検索 >>

最近の社告・リコール

事業者等が行った社告・リコール情報をNITEが同一のフォームに編集しています。

○NITE要約版 <平成22年1月8日>

- 平成22年1月8日 森田電工株式会社「加熱式加湿器」(HP)
水槽内のパッキンの不具合等のために、水が製品内部の基板に付着し、発煙・発火する事故が発生。(火災の発生や人的被害はありません。)(無償交換)
- 平成21年12月23日 イケア・ジャパン株式会社「幼児用いす」(HP)
プラスチックシートのフレーム固定部が破損し、シートがフレームから抜け落ちるおそれがあることが判明。(使用の中止・回収(返金))
- 平成21年12月22日 イトキン株式会社「ブローチ(婦人用コート付属品)」(HP)
一部の商品に留め具の不具合があることが判明。(無償点検(ブローチのみ)・無償修理(点検で不具合のあった製品))
- 平成21年12月9日 株式会社おてんとさん「ガンリン携行缶」(HP)
キャップ部のゴムパッキンが硬化、収縮してガンリンが漏れる恐れが判明。(回収・返金)
- 平成21年12月7日 ホダカ株式会社「幼児同乗器付き自転車」(HP)
継続使用により、フレームの一部が破損し、怪我に至る可能性があることが判明。(無償交換(幼児二人同乗用自転車の基準適合車))
- 平成21年12月7日 内外電機株式会社「住宅用分電盤分岐ブレーカ」(HP)
定格電流を超えた過負荷状態において分岐ブレーカが動作しない場合があることが判明。(無償交換)

社告・リコールデータを1,270件提供、検索が可能

(平成22年1月29日現在)

製品安全・事故情報

NITEトップ > 生活安全分野 > 製品安全・事故情報

生活安全分野

～暮らしの安心を支援する、安全・快適さに関する情報の発信～

社告・リコール | 特記ニュース | 最新事故情報 | 事故の調査結果(検索)

製品安全・事故情報

ミニポスター (一部動画付)

製品安全・事故情報

消費生活用製品(家庭用電気製品、燃焼器具、乗物、レジャー用品、乳幼児用品等)の欠陥等により人的被害が生じた事故、人的被害が発生する可能性の高い物的事故、及び製品の欠陥により生じた可能性のある事故に関する情報を提供しています。

発行物

注意喚起リーフレット

季節別に発生する事故事例と事故防止のポイントをわかりやすく説明したリーフレットです。
▶ [詳細はコチラ](#)

誤使用防止ハンドブック

誤使用事故を防止する目的で、消費者用、事業者用の2つのハンドブックを作成しました。
▶ [詳細はコチラ](#)

定期発行物

生活 nite 安全 ジャーナル

製品安全情報マガジン
～配信登録はこちらから～

消費者のみなさまへ

- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起ちらし >>
- ミニポスター(一部動画付) >>
- 誤使用防止ハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報マガジン(PSマガジン) >>

What's New >>

プレスリリース >>

特記ニュース >>

最新事故情報 >>

事故情報の検索 >>

社告・リコール情報 >>

社告・リコールの検索 >>

製品安全情報マガジン - Microsoft Internet Explorer

http://www.nite.go.jp/jiko/psm/in

nite 独立行政法人 製品評価技術基盤機構

NITEトップ > 生活安全分野

生活安全分野

製品に関する事故情報や高齢者・障害者に配慮した国際・国内規格・技術データなどの情報を提供しています。

製品安全・事故情報

消費者のみなさまへ

- 注意喚起リーフレット >>
- 注意喚起ちらし >>
- ミニポスター(一部動画付) >>
- 誤使用防止ハンドブック >>
- 生活安全ジャーナル >>
- 製品安全情報 >>

What's New >>

- プレスリリース >>
- 特記ニュース >>
- 最新事故情報 >>
- 事故情報の検索 >>
- 社告・リコール情報 >>
- 社告・リコールの検索 >>
- 報告書 >>

製品安全情報マガジン (PSマガジン)

製品評価技術基盤機構(NITE)では、NITEに集約される製品安全に関する情報を製品事故品安全情報マガジン(PSマガジン)によってタイムリーに提供しています。

新規登録 新規に配信を希望される方はこちらから登録してください。

登録変更 登録解除 パスワード再発行

登録内容の確認・変更はこちらから※

メール配信の停止を希望される方は、こちらから登録の解除を行ってください。※

パスワードを忘れた方はこちらから再発行を行います。 ※パスワードの入力が必須

バックナンバー

2008 2007 2006

http://www.nite.go.jp/jiko/psm/psm_vol114_0127.html - Microsoft Internet Explorer

製品安全情報マガジン (PSマガジン) 製品安全情報マガジン (PSマガジン) 製品安全に関する情報をお届けします。(隔週水曜日発行) <等幅フォントでご覧ください>

独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE・ナイト) 製品安全センター 製品安全調査課 <http://www.jiko.nite.go.jp/>

2010. 1. 27 Vol.114

寒い日が続きますが、温かいお風呂に入るとほっとしますね。そんな至福のときを与您してくれるふろがまのうち、今回は石油ふろがまの事故をご紹介します。NITEからのお知らせでは、「注意喚起ちらしの追加について」、「発火事故原因究明マニュアルのHP公開」、「製品安全センタートップページのリニューアルのお知らせ」を掲載しております。

目次

- 製品事故収集情報
 - 石油ふろがまの事故
 - 消費生活用製品の事故情報収集状況(1月8日~1月19日 受付232件)
- 社告・リコール情報(3件)
- NITEからのお知らせ
 - 注意喚起ちらしの追加について
 - 発火事故原因究明マニュアルのHP公開
 - 製品安全センタートップページのリニューアルのお知らせ
- 関係機関の製品安全情報
 - シャープ株式会社 が製造した電気冷蔵庫のリコールについて
 - 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表済事故において、製品起因による事故ではないと判断した案件について
 - 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表済事故において、製品に起因して生じた事故であるか不明であると判断した案件について
 - 松下電工株式会社 (現 パナソニック電工株式会社) が製造した電気カーペットのリコールについて
 - 森田電工株式会社 が輸入した加湿器のリコールについて
 - ヒロ・ジャパンテック合同会社が輸入・販売したレーザーポインターについて (注意喚起) 経済産業省、近畿経済産業局
 - 消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について 消費者庁

隔週水曜日に配信

配信登録を！！(無料、無記名です。)

事故 ナイト いいね

安心を未来につなぐナイトです。

nite National
Institute of
Technology and
Evaluation

独立行政法人 製品評価技術基盤機構
● 製品安全センター